日本経済新聞

記事利用について

白亜紀時代の巨大ワニ復元 「大地のハンター展」きょう開幕

2021/3/9付 | 日本経済新聞　朝刊

巨大ワニ「デイノスクス」を実物大で復元した

白亜紀に生息した巨大ワニをはじめ、地上の生物が繰り広げる生存競争に迫る「大地のハンター展～陸の上にも4億年」（国立科学博物館、日本経済新聞社、BSテレビ東京主催）が、9日から国立科学博物館（東京・台東）で始まる。関係者向けの内覧会が8日開かれた。

体長10メートルを超える巨大ワニ「デイノスクス」の実物大模型のほか、ジャガーやシマフクロウ、クモ類などの標本300点以上と映像を展示する。ハンター（捕食者）の進化は自然の神秘と保全の大切さを教えてくれる。

総合監修を務めた国立科学博物館の川田伸一郎研究主幹は「ハンターの戦略は『足が速い』『ジャンプができる』などだけでは語り尽くせない。毒による攻撃や待ち伏せなど多彩だ。大きな動物から小さな昆虫まで幅広く展示した」と話す。

6月13日まで開催し、入場は事前予約が必要。新型コロナウイルスの感染防止策を徹底する。

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

Nikkei Inc. No reproduction without permission.